



農協だより

Vol.102

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 27 年 2 月

稲作講習会

♪皆様お誘いの上、お気軽にご参加ください♪

内容 ☆健苗育苗と田植後の管理まで
☆箱剤、除草剤等の効果的な使用方法について

時間 午前の部・10:00より
午後の部・1:30より

各支店の日程

日時	3月2日(月)		3月3日(火)		3月4日(水)		3月5日(木)		3月6日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	阿戸 2階	熊野 2階	中須賀 2階	上瀬野 3階	中野 2階	瀬野 2階	東海田 2階	追分	初神 老人集会所

シイタケ栽培講習会の開催について



「原木きのこをつくりませんか?」12月～ソメイヨシノの開花までは、シイタケ栽培の植菌の時期になります。原木が手に入る方、植菌原木を持っている方、ほだ木を持っている方々にシイタケ栽培講習会を下記日程で開催いたします。多くの方々に来ていただきたいと思っています。

開催日時	2月17日(火) 14時00分から	2月18日(水) 14時00分から	2月19日(木) 14時00分から
開催場所	熊野支店 2階 会議室	瀬野支店 2階 会議室	畑賀支店 2階 会議室

七草セット販売



熊野町の馬上さんが、活葉倶楽部を中心に七草セット 5,000 パックを出荷されました。

作業は3日より開始され、5日より販売されました。

昨年は12月から雪が多く、ハウスでもなかなか生長せず大変苦労したと話されていました。



1月23日に春播き野菜の品種検討を行った結果を裏面に掲載しております。これからの作付け計画の参考にご利用ください。寒さが厳しく作業も少ない時期のため土壌病害について考えてみましょう。春に植付けする作物の中で特に被害が多い土壌病害は主に次の3つがあります。

1.青枯病 2.半身萎凋病 3.根こぶ病 これらの病気は発病後には有効な対策がありませんので、植付け前に対策をして発病を防ぎましょう。

営農メモ

1.青枯病

被害の様子 なす科を始め多くの作物で被害があります。地温 20℃頃から被害が出始め、25℃以上になると被害が多発します。症状は梅雨明け頃より日中、株全体が緑色のままおれ始め、翌朝には回復する。これを数日繰り返して最後には枯死します。被害株の茎を切ると導管部(水の通り道)が褐変しています。切り口を水に漬けておくと白濁液が出てくるので確認できます。

発生経緯 作物が植付けされると土壌中に生存している細菌が根の表面で増殖し、根の傷口より植物体内に侵入し、導管部で増殖し、水の移動が阻害されるため地上部が萎凋します。

被害株を残しておくと、菌が根から排出され、水と共に周りの根に移動し、健全株にも被害が広がります。細菌は土壌中で数年残存しますが、土壌水分が20%以下になると10日程度で死滅します。ただし、細菌は水の移動とともに拡散し、土壌の深い部分にも存在するため長期に被害が発生します。土壌伝染の他、被害株で剪定鋏を使用しその鋏を次の株で使用すると病気が移ります。

対策 1.被害株は抜き取る。(残渣は圃場外へ持ち出す。)2.接木苗の利用 3.排水対策を行う 4.土壌消毒

2.半身萎凋病(はんしんいちょうびょう)

被害の様子 なす科を始め多くの作物で被害があります。管内では、なすでの被害が多く見られます。地温 22~26℃頃に発病しやすく、管内では6月中旬頃より被害が出始めます。初め下葉の主脈を中心に葉の片側の葉脈間(葉の中のすじの間)に部分的に淡黄斑が現れ、次第に褐変します。被害が進むと上位部分まで被害が広がり、発病葉はしおれて落葉します。さらに進むと株全体に被害が進み枯死する事もあります。

発生経緯 発生圃場では土壌中に小型の菌核で存在しており、作物の根が菌核の周りに伸長すると発芽し根の傷口より植物体内に侵入します。導管内で菌が増殖し上位へ広がり、葉柄や葉身の基部など定着します。被害株で形成された小菌核が土中で生存し翌年の発生原因となります。この菌核病は土壌中で3年以上生存します。

対策 1.被害株は抜き取る。(残渣は圃場外へ持ち出す。)2.接木苗の利用 3.土壌消毒



3.根こぶ病

被害の様子 あぶらな科作物で被害があります。根にこぶができて吸水を阻害されるため、日中葉がしおれたり、生育が遅れるなどの被害がみられます。初期に被害を受けた場合は主根にこぶができて、枯死することがあります。生育後期に被害に遭うと、時期が遅れますが収穫可能です。

発生経緯 あぶらな科作物が植付けされると、土壌中に生存している休眠孢子から遊走子が出て、根毛へ菌が侵入し増殖します。菌は主根や側根にも侵入し、こぶを形成します。酸性土壌で、地温 20~25℃で被害が多くなります。こぶが腐敗すると休眠孢子を排出し翌年の発生原因となります。休眠孢子は土中で10年程度生存しますので、被害株は抜き取ります。

対策 1.被害株は抜き取る。(残渣は圃場外へ持ち出す。) 2.石灰資材を使用する 3.排水不良地では高畦にする 4.抵抗性品種の利用 5.薬剤処理(ネビジン粉剤、オラクル粉剤)や土壌消毒

いずれの病気も連作を避け、堆肥を充分施用し土壌中の菌密度を低下させることで被害の軽減が図られます。また、被害多発圃場から他の圃場へ移動する際は、トラクターや靴に着いた土によって被害が拡大しますので、移動の際は土をよく落とし、被害の無い圃場に持ち込まないようにしましょう。

土壌消毒(太陽熱消毒・バスアミドなど)を行う場合、バスアミドは地温10℃以下では使用しない。太陽熱消毒は7~8月の気温の高い時期に行います。

春播き野菜の品種と作型

平成27年1月23日

作物名		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	品種	a当り苗、種子	畦幅×株間
果 菜 類	キュウリ			↑	×	●	●	●	夏すずみ、Vロードシャキット(四葉) 夏秋節成胡瓜	150~180本	150×40 1条植え
	スイカ		↑	×	×		●	●	大文字3号 飛行船ラルク(小玉)	35~40本	200×100 1条植え
	カボチャ		↑	×	●	●	●	●	えびす(粘質) 味まるん(粉質) 白爵(追熟3カ月)	30~60本	300×60~100 1条植え
	ズッキーニ			●	×	●	●	●	グリーンポート2号	70本	150×100 1条植え
	トマト	↑ 1月中旬播種	×		●	●	●	●	桃太郎ファイト ホーム桃太郎 千果(ミニ) レッドオーレ(中玉)	200本	120×45 1条植え
	ナス	↑	●	×	×	●	●	●	筑陽 庄屋大長 くろつばめ大長	200本 55本	100×50 200×90 1条植え
	ピーマン ししとう	↑	●	×	×	●	●	●	ニューエース 甘とう美人 ししとう	200本	120×40 1条植え
	オクラ			●	×	●	●	●	ベターファイブ(5角) エメラルド(丸)	200本	120×40 1条植え
	スイートコーン		↑	×	↑	●	●	●	ゴールドラッシュ キャンペラ90 しあわせコーン ゴールドラッシュ90 ゴールドラッシュ90(9月下旬収穫)	1ℓ	150×30 2条植え
豆 類	丹波黒大豆				●●	●●	●●	●●	丹波黒大豆 収穫 枝豆10月中旬 大豆 11月下旬~12月上旬	200本 250g	100×50 1条植え
	茶豆風味エダマメ		↑	×	●	●	●	●	おつな姫 湯あがり娘 雪音 収穫9月中旬~10月中旬	5dℓ	120×20 2条植え
	エダマメ		↑	×	●	●	●	●	早生緑大莢 富貴 幸房成(黒枝豆)	5dℓ	180×15 4条植え
	インゲンマメ			●	●	●	●	●	セルシー(つる無) 黒種新衣笠(つる有) サマージャンボ (つる有・モロッコ) 収穫9月上旬	4dℓ (1穴2本植え)	120×40~45 2条植え(つる有) 120×30 1条植え(つる無)
葉 菜 類	キャベツ	↑	↑	×	●	●	●	●	YR春空 輝 恋路	6mℓ 条播き50mℓ	150×45 2~3条植え
	ハクサイ		↑	×	●	●	●	●	無双、黄楽70	点播き10mℓ 条播き50mℓ	150×45 3条植え
	ホウレンソウ	↑	●	●	●	●	●	●	パンドラ、ソロモン アクティブ、ミラージュ	1ℓ	110~140×4~6 4~6条植え
	コマツナ	↑	●	●	●	●	●	●	夏楽天 かおる小松菜	60mℓ~1dℓ	100×2~3 4条植え
	レタス類	↑	×	●	●	●	●	●	シスコ 晩抽レッドファイヤー リバーグリーン	6mℓ	90×30 2条植え
	葉ネギ		●	●	●	●	●	●	九条細 小春	1.8~2dℓ	120×1 3条植え
	長ネギ		●	●	×	×	●	●	ホワイトスター 赤ひげ 収穫11月~	50mℓ	100×3 1条植え
根 菜 類	ダイコン	↑	●	●	●	●	●	●	つや風 耐病総太り (二重トンネル+透明マルチ)	点播き 1dℓ 条播き 2dℓ	120×25 2条植え
	小カブ	↑	●	●	●	●	●	●	CRゆきばな CRもちばな	1dℓ	100×8~10 4条植え
	ニンジン	↑	●	●	●	●	●	●	向陽二号 クリスティーン ベーターリッチ	2 dℓ	60~90×10~12 2条植え
	ゴボウ		●	●	●	●	●	●	柳川理想 ダイエットごぼう	点播き 1dℓ 条播き 2dℓ	120×10~12 2条植え
芋 類	ジャガイモ		●	●	●	●	●	●	男爵、デジマ キタアカリ メークイン、シンシア	20kg	120×30 2条植え
	サトイモ		●	●	●	●	●	●	女早生 土垂 収穫 9月中旬 収穫 10月中旬	25kg	150×40 2条植え
	サツマイモ	↑	●	×	●	●	●	●	鳴門金時 パープルスイートロード (紫芋) 安納芋(追熟30日) 収穫 9月中旬~ 収穫 9月下旬~	240本	90×45 1条植え

—— 奨励作物 ● 種まき × 定植 ■ 収穫 ↑ ハウス ⤴ トンネル